

提出順	//	発言順	9	令和5年11月30日 午前・午後 10時10分受領
-----	----	-----	---	------------------------------

(2 枚中 No. /)

2023年11月30日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 白井 泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	安曇野市の平和施策について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- 1 安曇野市のこれまでの平和施策をどのようにとらえ、評価しているか。
合併後の安曇野市の平和施策は、合併前の旧5町村の平和施策や議会決議等をどのように引き継いでいるのか。また、合併後の「平和のつどい」や「戦没者追悼式」「安曇野市平和都市宣言」「平和と人権のつどい」をどのようにとらえ、評価しているか。
- 2 安曇野市の平和施策を実施することとなった経緯や施策の趣旨と目的、その根拠となる文書について
 - (1) 「第1回平和のつどい・戦没者追悼式」を実施することとなった経緯およびそれらの趣旨と目的は何か。また、それらの根拠となる文書は何か。
その後の「平和のつどい・戦没者追悼式」の趣旨と目的は変わったか。変わったとしたらどのように変わったのか。また、その根拠となる文書は何か。
 - (2) 「安曇野市平和都市宣言」を制定することとなった経緯、および制定の目的は何か。
 - (3) 「広島平和記念式典参加事業」を新たに行うことになった経緯およびその趣旨と目的は何か。また、その根拠となる文書は何か。
 - (4) 「平和と人権のつどい」の開催に至る経緯およびその趣旨と目的は何か。また、その根拠となる文書は何か。
 - (5) 今年度「平和と人権のつどい」を開催せず、「広島平和記念式典参加事業（成果発表会を含む）」と「人権つどい」の開催となった経緯および「広島平和記念式典参加事業」と「人権のつどい」の趣旨と目的は何か。また、その根拠となる文書は何か。

提出順	11	発言順	9	令和5年11月30日 午前・午後 10時10分受領
-----	----	-----	---	------------------------------

(2枚中No.2)

2023年11月30日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 白井 泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
■市長 <input type="checkbox"/> 副市長 ■教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長 ■総務部 ■政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 ■福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 ■教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	安曇野市の平和施策について		

3 78年前の戦争に対する認識に基づき、安曇野市の平和施策をどう進めていくのか。

(1) 78年前までの戦争では、安曇野市域から兵士や軍の命令に基づいて動員された戦病死者は、日中戦争(1937年)以降だけでも1681名を数えるという。それ以外の民間人や空襲犠牲者を合わせればさらに多くの戦病死者となる。日本全体では310万人、アジア全体では2000万人以上の犠牲者だという。そして、戦後も長きにわたり原爆被爆者や遺族をはじめ多くの方が戦争による被害を受け続けてきた。

先の戦争が日本史上でも安曇野市史上でも最大の事件ともいべきものであったことを深く心に刻み、戦争を起こさないことを、特に唯一の戦争被爆国であることから非人道的な核兵器の廃絶を強く願って、平和な社会の実現に向けて、市の平和施策を進めていくべきと考える。

市長の78年前までの戦争と核兵器に対する認識とその認識に基づいた市の平和施策を進めていく決意を伺う。

(2) 広島平和記念式典参加事業や中学校での原爆展・戦争展、市民団体との協同の平和事業、満蒙開拓平和記念館自治体パートナー制度、上原良治の顕彰や安曇野市域の戦争で亡くなった方々に関わる事業、博物館や文書館などにおける平和事業を今後どのように進めていくのか。